



遊びを通して広がる心とからだ

～豊かな感性を育む身体表現遊び～

有浦保育園 保育士 相場 理知子

1 研究主題の設定理由

県学校体育研究大会において「豊かなスポーツライフの基礎を固める体育学習」のテーマのもと、幼保・小・中・高の連携の中で、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成を目指すことになった。また「表現リズム遊び」を小学校体育科との接続とし、運動遊びの系統性を捉えながら公開保育をすることになった。

本園の園児の実態をみると、ほとんどの子は喜んで踊ったり歌ったりする姿が見られ明るく元気な子が多いが、自分の思いを全身を使って表現することが苦手で恥ずかしがったり戸惑ったりする子もいる。

これまでの私達の保育を振り返ると、子ども達の表現しようとする意欲を育てていただろうか。その意欲に対して、豊かに表現できる環境としての教材・遊具や用具を十分に準備できていただろうか、という反省点があげられる。

そこで、遊びや生活の中で膨らませたイメージを自分なりに表出し、体を動かすことの心地よさを味わい保育者や友達と感動を共有し合うことで、豊かな感性につながっていただろうと考え、本テーマを設定した。

2 研究の重点とそれに基づいた実践内容

(1) 発達の系統性を考慮した年間指導計画の作成

秋大准教授による模擬保育を見学し、講義や指導を受ける。



「模擬保育にて」魚になって遊ぶ子ども達



「幼児体育」の講義

(2) 豊かな身体表現を広げるための環境構成

＜0歳児の実践例＞成長段階に合わせての環境



ダンボールトンネルを作り、はいはいすることを十分楽しめるようにする



台の高さを調整し、「つかまりたい」という意欲を引き出せるようにする



牛乳パックで高低差のある道を作り、さらに歩くことを楽しめるようにする



表現を引き出す環境構成を考え実践してきた結果、10月26日の公開保育では、全身で表現することを楽しむ成長した子ども達の姿がたくさん見られた。

(3) 表現する意欲と動きを引き出す保育者の援助・関わり

＜H君の事例＞ごっこ遊びの中での保育者の意図と具体的な支援方法

- ①保育者がアコーディオンを弾きながら、動きやリズムで楽しい雰囲気を感じられるようにしたことで、安心して遊んでいた。
- ②興味のある絵本や遊びが広がりそうな絵本を選び、繰り返し読むことで内容をよく理解し、自らの力で好きな動物を選択する力が育った。
- ③子どもが作り出した替え歌を引き出すように繰り返し歌ったり、具体的に褒めたりすることでやりたい気持ちや試したい気持ちが引き出されていった。



替え歌を歌いながらの表現遊び



絵本に集中する子ども達の様子

3 成果と課題

- 保育指針や保育課程をもとに年齢ごとにテーマに沿って年間指導計画を作成し、体を動かす経験を系統的に重ねたことで、運動機能の発達と体力の向上につながり、全身を動かし伸び伸びと表現するようになった。
- 子ども達のイメージに寄り添い、実態に合わせて繰り返し環境の再構成をしたことで、遊びが継続し主体性と意欲につながってきている。
- 一人一人の発達に個人差はあるが、しっかりとその発達や興味を見取することで、適切な援助、必要に応じた見守り、励ましを行うことができた。それにより、運動が苦手な子も興味を示して喜んで体を動かし、生き生きと遊ぶことができたのではないかと。
- 園児と小学生との交流はなかったが、指導の連続性を視野に入れた小学校との連携を持つことができた。
- 子ども達の豊かな表現を導くために、自然に触れる様々な直接体験を大切にすることで、意欲や関心を高めていきたい。
- 遊びを保障し多様な動きを引き出すためには、更なる安全面の配慮が必要と感じる。保育者一人一人が思いに寄り添える人的環境として共通理解を図りながら研鑽していきたい。
- この研究をきっかけに、児童と幼児の交流に発展するよう小学校との連携を深めていきたい。